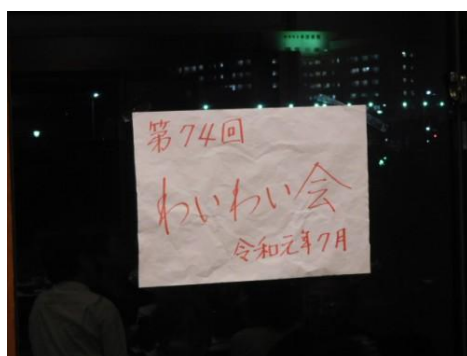


## 第1章 武豊線（第74回わいわい会）

2019年7月20日（土）～21日（日）開催した、高松一高同窓の歩き会の集まりである「わいわい会」がほぼ予定通り無事閉幕しホットする。何よりのお土産！！今回も天や神のご加護に加え、31名もの参加を得て、第74回わいわい会（令和初）が一度も中止や延期なく継続更新でき嬉しい限り。幹事冥利につく2日間だった。

- ① 鉄道つたい歩きの巻
- ② 宴会の巻
- ③ 半田散策の巻
- ④ 反省会の巻



黄色い旗を忘れ、急遽思いつきで、わいわい会の臨時旗を作成！！（平尾さん有難う）人生とは不思議なものです。何と熱海駅で黄色い旗を忘れたのに気がつくとは！！しかも令和元年の最初の開催のわいわい会で。

2日目の反省会の席などで各位から感謝の意を頂き、感無量の気持ちで一杯。3月に下見したのが大成功だった。”何事も努力すればいいことがあるなあ”を痛切に感じる2日間であった。



31名全員集合！！天麩羅割烹天畔での大宴会模様

#### <総評>

推奨する時刻表を旅行計画書に記載していた関係で、熱海、豊橋、大府と乗り継ぎ駅で本日参加のメンバーと順次対面する。特に、大府駅では関西や香川方面からの参加者と合流でき、約1年振りの再会に感動また感動。同時に32名の出欠（1名欠席）の確認が取れホットする。本来ならば、確認の連絡を1週間前にすべきところであるが、性善説を信じ省略しているからだ。

3月に下見をしていた関係で、路に迷うことなく、また地図を見ることなく、東成岩駅、半田駅と淡々と進むことができる。ただし、年齢や体力などを考慮しながら、先頭と末尾の間を適宜調整しながら進むことを余儀なくされるが。予定通り17時過ぎに半田駅経由で名鉄イン知多半田駅前ホテルに到着できる。嬉しいことに、各自疲れた足取りの反面、顔面から達成感も感じる事ができた。

#### <メールのやり取り>

天気が不安定なこともあり、昨日以来、武豊駅到着までに、電話に加え、沢山のメンバーからSMSやラインなどからメッセージを頂戴する。可能な範囲でタイムリーに返信させて頂く。その一例は次の通り。

○榎原さんお世話になります。明日の予定ですが、皆さんと歩くのは無理なので武豊からホテルに直行します。あさってはみなさんとご一緒させて頂きます。よろしくお願ひします。

○こんにちは。明日お世話になります。台風の前が心配ですね？

○おはようございます。浜松晴れています。湿度も高いので熱中症注意報が出ています。浜松駅で乗ります。宜しくお願ひします。

○おはようございます、新横浜を出ました。お世話になります。よろしくお願ひします。先程静岡を通過しました。皆さまにお会いするのが楽しみです。お天気は大丈夫！！私晴れ女ですの～

○旅は順調ですか。もう静岡辺りですか。私は後から追いかけてホテルで合流しますのでよろしく。

○只今、東京駅を発車いたしました。平尾さん、植村さん、富田さん、藤岡さんと藤本の5名です。なお、当初乗車予定の7時42分発の一つ前の7時28分発の熱海行きに乗車いたしました。

#### <鉄道つたい歩きの巻>

昨日はお天気が心配だったが、今日と明日何とか曇り空でホットする。家内に7時過ぎ南林間駅まで送ってもらい、南林間発7時13分の電車で藤沢に向かう。藤沢駅の手前で7時35分頃、木下氏から電話が入る。「まもなく、藤沢駅に到着」と回答。7時45分頃、JR 藤沢駅改札口前には木下氏の姿があった。到着するや否や、藤沢名物の鯖ずしなどを昼食用に購入。暫くすると、岡本さん、宇賀神さん、大崎さんと本日予定の5名が、JR 藤沢駅改札口前に集合時刻8時より少し前に勢揃い。各自弁当を購入後、青春18きっぷを使用し、藤沢駅のホームに移動する。

藤本さんから、7時36分、予定の東京駅7時42分発より一本早い電車に乗ったとの連絡あり。また、富田さん、藤岡さん、植村さん、平尾さんの5名で乗ったとの連絡がある。後で、宇賀神さんに乗った車両をメールで願ひする。その結果、7号車と判明。平塚駅辺りで車内を移動し東京組と合流し、10名の団体となる。熱海には、予定より17分早く、9時14分到着。各自トイレ休憩。9時25分、11名目の溝縁さんと熱海駅で合流。この駅で、11名で記念写真を撮ろうとした際、黄色い旗を忘れたことに気付く。しかし、自宅からここまで“わいわい会旗を持参していない”は私の眼中には全くなかった。



熱海駅（旗の忘れに気付く） 車中で久振りの再会そして語り合う

島田駅（11時19分到着）で階段によるホームを移動し、11時30分、浜松行に乗り換える。乗り換えるや否や、各自用意した弁当を食べる。豊橋駅に到着するや否や、12人目の門口さんと合流する。そして、武豊線が繋がる大府駅で、高松から駆けつけてくれた多田野さん、藤澤さんをはじめとする関西組、多田さんをはじめとする関東組と合流。そして、谷本さんと末澤さんを除く29名が揃う。岡本さんが、豊橋駅で逸れたため、30分出発を後らせる。30分の待ち時間を利用して、“わいわい会臨時旗”を平尾さんに作成頂く。また、予定の大原さんの姿がないので、この時間を活用して、携帯に連絡する。「欠席」との連絡で驚く。欠席対応の後始末で名鉄インホテル、天畔への連絡で、頭の中が一杯となるが・・・。



武豊線の中で、武豊駅で

しかし、ここは冷静な気持ちで対処する。15時過ぎ、JR武豊駅で29名の結団式を済ませ、半田駅に向けて出発。



武豊駅で結団式

3月に下見をしていたので、地図なしで誘導する。年齢や体力などから、先頭と末尾で200m位の間隔が発生したので、順次調整しながら進む。木太さんなどに、「今回の宿や宴会の候補」を指さしながら進む。しかし、武豊駅に宿を取らなくて大成功と自問自答する。半田にして大成功と。



第3師崎街道踏切を横切る

16時7分、東成岩駅に到着。ここで齋木さんがアップ。木下さんに面倒をみて頂く。16時38分、武豊線と幹線道路が交差する踏切を通過。3月に下見した路地を通り、16時51分、山之神社前を通過。16時58分、半田駅に到着。本日の営業キロは4.7kmで、私の通算営業キロは1万227km（活動日数505日）となる。万歩計は12,152歩であった。



東成岩駅、半田駅への路

半田駅前で記念写真を撮るや否や、ホテルに向かう。ホテルには17時9分、ほぼ予定した時間に到着。各自チェックインしてもらい、18時15分ホテルのロビーに集合してもらう。山本妙子さんと木下喜久代さんに会計をして頂く。そして、水野さんがバスに乗り遅れているのも気が付かず、マイクロバスは18時30分に発車する。水野さんには申し訳ないことをしました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。



半田駅

武豊駅到着までに、三つのメークドラマが発生するが、温かいメンバーの協力・応援を得てすべて無難に対処できる。ひとつは豊橋駅で1名が逸れるというハプニングのため、予定より30分遅れの出発になったこと。二つ目は、熱海駅でわいわい会の際には必ず持参の黄色い旗を忘れたことに気がついたこと。もう一つは、私の確認不足で1名のドタキャンメンバーが発生したこと。



名鉄イン知多半田駅前ホテル

### <宴会の巻>

2019年7月20日（土）、高松一高合同わいわい会は武豊線つたい歩き（武豊～東成岩～半田）をした後、”名鉄イン知多半田駅前ホテル”（0569-23-3434）で宿泊。ホテルは半田駅から徒歩8分位のところにあった。各自ホテルでチェックインし、汗を流した後、18時20分ホテルのロビーに集合。



天麩羅割烹天畔、多田野氏による乾杯

本日宴会先の”天麩羅割烹天畔”（0569-47-5570）からマイクロバスにて迎えに来て頂く。併せて、半田の蔵・運河の街並みを運転手の方に説明を受けながら、天畔まで送迎頂く。年配の方が多ただけ、ホテルから天畔のまでの送迎サービスは、タイムリーかつ安全な手段でもあり、最高の気分させてくれた。また、天畔に着くなり、本日と明日の反省会会場は“貸切”との看板があり、またしても感動。3月の下見が功を奏する結果となった。“人生は気配りまた気配りである”と。ここでも、「人生丁寧にやればいいことがあるなあ」を痛感する瞬間であった。



大宴会の風景



19時、多田野榮前桜紫会会長のご挨拶と乾杯の音頭で大宴会は始まる。ご挨拶の後、酌量しないうちに、私の方から明日のスケジュールを連絡。この時の総勢は31名。昨年の第70回わいわい会以来、再会の方が多数であった。それ故、終始和やかな雰囲気の中で一期一会を楽しむ光景は、生涯忘れることができないだろう。一人親方で一年間汗をかいた努力が一気に報われたような気持ちにさせてくれたからだ。2時間、旧交を温めた後は、水野充氏の指揮の下、”わいわい会賛歌”を口ずさむ。この歌は、私が拙い詩を描き、同窓生の長町順史氏が作曲、そして末澤美紀子氏が編曲・演奏によりできた作品である。つまり、音楽部門でも活躍している高松一高母校の成実の一例。天畔のスタッフの方にも素晴らしいメロディーとの評価を得た。明日の反省会でも再度歌って欲しいとの依頼を受ける。この歌で楽しい愉快的大宴会は閉幕となる。





わいわい会賛歌を口ずさむ水野氏



我々の足としてお世話になったマイクロバス

宴会が終わるや否やホテルまでマイクロバスで送迎頂く。ここで本日は閉幕。ここから16名の希望者で木下広一氏の下、ホテル界隈のカラオケ屋で更に懇親を深める。私は、河島英五の「時代おくれ」、「野風増」、そしてバンバンの「いちご白書をもう一度」の3曲を歌わせて頂く。色んな方からそれぞれの喉を披露してもらい、遠い昔が昨日のように思い出された。楽しいカラオケ大会であった。ホテル到着は深夜0時を回っていた。充実した一日であった。



カラオケ大会

#### <半田散策の巻>

2019年7月21日(日)、曇り空の中、”名鉄イン知多半田駅前ホテル”で朝食を済ませた後、8時45分ロビー集合。ホテル前で記念写真を撮影した後、マイクロバスで昨夜大宴会した”天麩羅割烹天畔”まで再度送迎頂く。



ホテルで頂いた”蔵のまち  
エリアマップ”

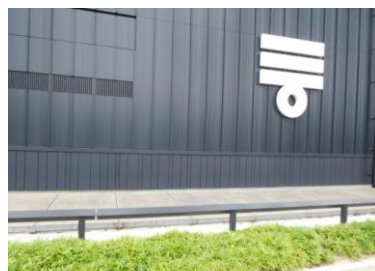


ホテル5階からの眺め他



朝の名鉄イン知多半田駅前ホテル前

そこで荷物を預かってもらって貰い、水野氏にスマホで予約頂いた”ミツカンミュージアム”(9時半より営業)に向かう。この博物館の中には、第18回わいわい会(諏訪湖一周の旅)にて14年前見学した豊島屋における酒の過程と同様、酢の作成過程が細かく展示されていた。感動また感動。その感動シーンを溝縁氏にお出まし頂く。この博物館を30分位見学した後、二つのグループに分かれて蔵のまちを散策する。



半田運河とミツカン



ミツカン博物館への路（運河沿いを歩く）



ミツカン博物館内



重いですか溝縁さん、博物館の中庭



船展示場、ミツカン博物館前

ひとつのグループは、國盛酒の文化館と半六庭園（旧中埜半六田邸）の散策コース（13名参加）。もう一つのグループは、タクシー（4台に分乗）にて半田赤レンガ建物（旧カブトビール工場）の散策コース（16名参加）。私は苦渋の選択の後、後者を選択。16名がカフェブリックで黒ビール等を賞味する機会を得る。大阪から参加頂いた齋木氏とツーショット写真を撮って頂く。30分位寛いだ後、再びタクシーで反省会の会場”天畔”に直行。



半田赤レンガ建物



カフェブリックにて



黒ビール一等での歓談風景



源兵衛橋、魚太郎蔵のまち



國盛酒の文化館内

<反省会の巻>

2019年7月21日(日)、蔵のまちエリアを散策した後は、11時20分昨夜大宴会した”天麩羅割烹天畔”に集合し、今回74回わいわい会に関する反省会がある。



乾杯前のシーン

反省会は藤澤氏の乾杯のご発声でスタート。暫く歓談したあと、大崎氏を皮切りに、29名がそれぞれ二日間の感想やわいわい会へ熱い暑い思いなどをリレー式で語って頂く。



反省会の雰囲気



藤澤氏の乾杯の音頭



反省会のスピーチ（初参加の多田氏の弁）



門口氏による締め

主幹事としてこれまで汗を流した努力が一気に報われるスピーチを各位から頂き、感動また感動。

私は次のスピーチをする。「来年の日時は東京オリンピックのため、通常の7月開催を約1カ月繰り下げ、**8月22日（土）～23日（日）**に変更」と発信。また、「次回のコースは、昨日の東海道本線往路時の声を反映し私の独断と偏見で、”**御前崎の旅**”と決めさせて頂いた」旨を中心にスピーチ。



13時過ぎ締めは、門口氏のご挨拶。そして、水野氏の指揮の下、“わいわい会賛歌”を口ずさんだ後、校歌斉唱で閉幕。来年の第78回わいわい会での再会を誓い、各自家路に。楽しい第74回わいわい会であった。



天畔前にて（解団式）

第74回わいわい会が無事閉幕するや否や、今回参加頂いた方から、次のような感謝の意のメール（例示）があり、感無量の思いとなった。天や神、そして参加頂いたメンバーに感謝・感激で一杯となる。

○知多半島わいわい会に参加させて頂き、有り難うございました。お蔭様で久しぶりに大勢の同窓生と楽しい一時を過ごすことができました。幹事さんに感謝また感謝です。

○今回もとても楽しかったです。お世話になりました。9月お待ちしております。

○わいわい会有難うございました♪ 本当に楽しい会ですよ！！また、次回も是非参加したいです。宜しく願います。

○お疲れ様でした、雨にも逢わずラッキーでしたね。楽しみプログラム皆さん同様感謝すると共に次回を楽しみにしています。元気いっぱい頂きました。ありがとうございました。

○こんばんは。昨日からのわいわい会お疲れ様でした。計画・施行・打上とありがとうございました。おかげをもちまして楽しく過ごせました。早速ですが、たちまちのスナックを数枚添付いたします。全体は、DVDに焼いて送付いたします。

○7月20日土曜日と21日日曜日のわいわい会の幹事ご苦労様でした。お世話になりました。

○こんばんは！昨日、今日と大変お世話になり有難う御座いました。大勢の引率でさぞお疲れになられた事と存じます。都内と違いゆったりした運河やたたずまいに癒されました。帰りは青春したいと思いましたが、火曜水曜日と実技と筆記試験があり(車ではありません)急なことで慌てて～～申し訳ありませんどうぞ、お疲れが出ませんように。御礼申し上げます。